

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月15日

事業所名 サトスポキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	83%	17%	・部屋を区切る、一度の最大利用者数を制限するなどしている。 ・整理整頓を心がけ、怪我及び事故のないよう安全に努めている。	サポートのスタッフによる見守りをさらに強化していきます。
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	・配置基準を満たし、プラスアルファのスタッフも配置している。	今後も配置数を適切に守り、様々なスタッフと関われる機会を設けていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	・段差もなく、床はカーペットを敷き、柱の角にはクッション材を配置するなどしている。 ・室内は平面、ビル内は共有部分のため、人的配慮で補っている。	・ビルの共有スペースのバリアフリー化は進んでおらず、スタッフ等の介助で車いす利用時への対応を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%	・定期的な会議を行い、業務の見直し、役割分担を行うようにしている。	今後も日々の業務に関する職員間の共有の徹底を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・保護者向けの評価、アンケートを取り、その結果を参考に、業務改善を行っている。	アンケート回収率の向上に向け周知の工夫を工夫するなど、より一層業務の改善に繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・毎年HPにて公開している。 ・会報にて周知している。	今後も継続してまいります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	83%	17%	・理学療法士(外部)からのアドバイスを受け、業務改善に繋げている	今後も様々な機関と連携し、業務改善に繋げてまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	・年に数回児童福祉や障がい者福祉に関わる外部研修に参加している。 ・定期的に内部研修を各委員会で開催している。	今後も外部の研修にも積極的に参加し、職員の資質向上を目指してまいります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・定期的に行われるモニタリングを参考にし、ニーズに合わせて計画を作成している。 ・保護者の意見と複数の職員の意見を参考にしつつ、作成するようにしている。	子どもたちへのアセスメントを行うことで、本人のニーズにもしっかり応えていきたいと思います。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・標準化されたアセスメントツールに加え、オリジナルのアセスメントツールも使用している。	年度初めに子どもたちの成長を把握するために、再アセスメントを行い、より良い支援に繋がっていきたく思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%	・前回指導を担当した指導員に話を聞くなどして事前に情報を得るようにしている。 ・ケース会議を基に、課題、プログラムを考えている。 ・指導前にチームでの相談、立案をして指導に臨んでいる。	今後も職員間の情報共有を行い、よりよいプログラムの立案をチームで考えてまいります。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・これまでの活動を確立し、常に職員で話し合い、その時の状況、状態に応じたプログラム設定を行うことで、様々な角度からアプローチできるようにしている。	子どもたちのやりたいことや保護者の方の要望を聞きながら、今後もプログラムの工夫を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	50%	50%	・平日、休日、長期休暇で課題設定を変更させることはあまりないが、休日、長期休暇中にはイベントを企画し、地域との交流をはかっている。 ・状況、子どものコンディションを確認しながら設定している。	短時間の運動療育のため、大幅な内容変更を設定するのは難しいですが、長期休暇にはイベントを企画するなどニーズに応じて設定していきたいと思っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別での活動が基本となるが、集団でも行えることがある場合には、積極的に集団活動を行っている。 ・子の状況、保護者のニーズのすり合わせを行った上での作成を行っている。	今後もご要望に応じて対応してまいります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	・誰が支援のメインを担当するのかを話し合い、補助の役割分担を決め、相談したいことがある場合には、始まる前に聞くようにしている。 ・集団活動を予定している場合は打合せを行っている。	今後も打合せを行い、お互いの役割の確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	・気になったこと、新しい発見などは活動後すぐに指導員同士で共有するよう心掛けている。 ・メインの担当以外にも指導を見ていたスタッフからも意見を聞き、次回に活かせる共有を行っている。	今後も継続して必ず支援終了後の振り返りを行い、お互いに気づいた点を共有しあって、よりよい支援に繋がるよう心掛けてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・正確な記録を残すよう心掛け、また支援会議を行い、改善に繋げている。 ・指導中に補助のスタッフが見守りながら記録を取り、支援に一貫性をもたせている。	今後も継続して正しく記録を取ることで、より良い支援に繋がるよう心掛けてまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・半年に1回のモニタリングや支援会議の結果、支援計画の変更の必要があれば定期的に見直ししながら作成している。	モニタリングを行うことにより常に支援計画の見直しを行っています。保護者様同件でのご利用なので、モニタリング以外の時期でも必要に応じてご相談に乗っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	・個別支援計画の中にガイドラインに則した支援計画を組み込んでおり、その計画を基に指導を行うようにしている。	運動活動を中心に5領域に対応した活動を組み込むことで、よりよい支援に繋がっていきたく思っています。
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	83%	17%	・適切な職員が担当者会議に積極的に参画しています。	参加させていただく際にその子どもの状況をしっかり把握し、お伝えできるよう常に職員間での共有を心掛けています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	33%	67%	・送迎は保護者で行ってもらっているため、担当者会議の時に共有を行う。 ・保護者を通して行事予定を確認し、活動内容に反映している。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%	・医療的ケアが必要な子どもの利用者は現在なし。受け入れる場合は保護者とも相談し、主治医との連携体制を整える予定。	医療的ケアが必要な子どもが今後利用される際は、必要に応じて連携させていただきたいと思っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%	・必要に応じて担当者会議の参加や相談支援員を通じて情報の共有や見学などを行っている。 ・保護者様からのお話で内容を聞き、必要に応じて連絡を取るようにしている。	保護者様のご希望に応じて連携を心がけていきたいと思っています。サポートブックなどによる情報共有によって相互理解を深めていければと思います。

こ や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	83%	17%	・卒業する前に特性や情報をまとめて情報提供できる準備を行うなど、必要に応じて提供している。	担当者会議に参加し、移行先の事業所に当事業所での様子を書面等でもお伝えさせていただきました。今後も切れ目のない支援が続けられるよう、情報提供してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	83%	17%	・研修を受けるなど、必要に応じて情報の共有を行うようしている。	今後も見学や研修に参加し、支援の質を高めていきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	67%	33%	・地域の行事やイベントに参加することで、障がいのない子どもたちとも接する機会を設けています。 ・障がいのない子どもたちでも通える体操教室を併設している。	イベント参加等地域との交流を今後も検討していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	83%	17%	・児童支援連絡会及び子ども部会へ参加し、その後職員間で共有している。	参加した職員からの情報共有を心がけてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・保護者見学のもと活動を行っているため、活動前に直接保護者の方に状況を聞き、活動後はその日の活動で気づいたこと等を伝えるなど、利用児の様子を共有する時間を設け共通理解を持っている。	今後もその時々状況に応じて、子どもたちの発達においての課題を共有し、一緒に成長を見守っていききたいと思います。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	・希望者にはペアレント・トレーニング講座を開催している。	今年度も事業所主催でのペアレント・トレーニング講座を開催いたしました。次年度も開催予定にしています。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に保護者の方に伝えている。変更があった際にもすぐに変更のお知らせを作成、説明を行い、保護者の方の了承を得ている。 ・いつでも閲覧できるように配置している。	利用を開始してからの疑問点があれば、随時お答えしていける体制を整えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・主に活動中活動後の時間に近況の報告や相談を受け、必要な支援に関する助言等を行っている。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・保護者会の開催により、保護者同士の連携を支援している。 ・外部の保護者会の活動も支援している。	今後もそれぞれのニーズに応じた企画を考えてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情解決委員会を設置し、マニュアルに準じて迅速に対応できる体制を作っている。	今後も個々の必要性に応じて迅速かつ適切に対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・会報は年3回ほど、活動内容は随時HP、ブログ、SNSで発信している。	今後も定期的な会報の作成を継続し、保護者様への情報発信に努めてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・担当者会議など個人の情報が必要な時以外は個人情報が入っているものを外に持ち出さないようにしている。 ・ファイリングし、鍵付きキャビネットにて保管している。	今後も十分注意して取り扱ってまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	83%	17%	・写真カードによる選択方式やホワイトボードでの筆記等を行い、分かりやすく配慮している。 ・保護者様と個別LINE等を活用し、双方向のやり取りも工夫しています。	今後も情報伝達を迅速に行い、わかりやすい情報の提供を行ってまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	50%	50%	・事業所として様々な地域のイベントに参加することで住民との触れ合いの機会を作っている。	イベント参加等地域との交流を今後検討していきたいと思っています。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・各マニュアルを策定し、周知している。	保護者の方全員に周知出来るようにマニュアルを事業所内に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・年に2回(夏、冬)に利用者にも募集をかけて行い、想定を変えて訓練を行うようになっている。 ・避難経路等を記載したものを掲示し、避難訓練に参加できない利用者にも周知徹底を行っている。	全員参加が難しいですが、掲示物等で周知徹底を今後も続けてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止委員会を設置し、年に数回外部の研修に参加し、また事業所内でも研修を行い、適切な対応を行っている。	職員間での共有を今後も心がけ、適切な対応を行っていききたいと思います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	17%	83%	・「緊急やむを得ない身体拘束に関する同意書」を作成している。	放課後等デイサービス計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	・食事の提供は行っていないので対応なし。	今後イベントなどにおいて飲食の機会を設定する場合は必ず医師の指示書に基づく設定を対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	83%	17%	・月ごとに分けて作成、印刷をすることでいつでも確認できるようにしている。	今後も作成と共有を心掛けてまいります。